資料3

大阪の教育の今後の方向性について

主な検討課題

１．グローバル化や雇用環境の悪化など大きく変化する社会の中で力強く生きていくための力の育成について

２．全ての子どもが自立して社会で生きていくための力のはぐくみについて

３．公私の切磋琢磨による大阪の高校の教育力向上について

４．教員の資質向上について

５．学校・家庭・地域の連携による大阪の教育力の向上について

６．安全で安心な学びの場づくりについて

【検討課題1】
グローバル化や雇用環境の悪化など大きく変化する社会の中で力強く生きていくための力の育成について

《主な論点》

○ グローバル社会で生きていくための力とはどのような力で、その力はどのように育成していくべきか？

【視点】激化する国際競争に対応するために必要な力／社会のリーダーとして求められる力／コミュニケーション能力／英語能力／日本の伝統・文化の知識／他国の文化を尊重する態度

○ 雇用環境が大きく変化する中、子どもたちに身に付けさせるべき力とはどのような力で、その力はどのように育成していくべきか？

【視点】勤労観・職業観／社会人基礎力／実践的な技能／企業との連携

【検討課題2】
全ての子どもが自立して社会で生きていくための力のはぐくみについて

《主な論点》

○ 社会で自立して生きていくための学力をはじめとした基礎的な力を、全ての子どもに対し、どのようにはぐくんでいくべきか？

【視点】基礎・基本／活用する力／学力の底上げ／学習意欲・学習習慣／生活習慣／読書習慣

○ 違いを認め合い、互いを尊重する豊かな心をどのようにはぐくむか？

【視点】思いやり／自己肯定感／生命の尊重

○ 様々な障がいにより支援を必要とする児童・生徒が増加している中、全ての児童・生徒の多様な学習機会を確保し、自立を支援するために、どのような方向性で取組みを進めるべきか？

【視点】幼稚園･支援学級･支援学校･府立高校での取組み／就職支援のあり方

【検討課題3】
公私の切磋琢磨による大阪の高校の教育力向上について

《主な論点》

○ 中学校卒業生の多くが高校へ進学している中、高校教育の果たすべき役割はどのようなものが求められているか？

【視点】多様な進路選択ニーズへの対応／学びのセーフティネット

○ 置かれている状況に関わらず、全ての生徒の学習機会を保障するために、今後、どのような方向性で取組みを進めるべきか？

【視点】就学セーフティネット（授業料支援、奨学金制度）

○ 公私が切磋琢磨しつつ大阪の高校の教育力を向上させるため、公私それぞれが担うべき役割はどのようなものか？

【視点】公立の強み／私立の強み／共同での取組み／公私の競争条件

【検討課題4】
教員の資質向上について

《主な論点》

○ 当面、教員の大量退職･大量採用が続くことから、今後、教職員の年齢構成等において大幅な変化が予想される。　このような中、教員の資質向上についてどのような視点から取組みを進めるべきか？

【視点】教職経験年数の少ない教員の育成／管理職の養成／教員の確保

○ 教員の意欲と能力を高めることと併せ、指導が不適切な教員への対応についてどのような視点から取組みを進めるべきか？

【視点】意欲向上のインセンティブ／指導が不適切な教員の早期の発見と対応／公私間の教員交流

【検討課題5】
学校･家庭･地域の連携による大阪の教育力の向上について

《主な論点》

○ 家庭・地域との連携や、生徒・保護者ニーズの反映による学校力の向上をいかに進めるべきか？

【視点】開かれた学校づくり／学校経営に対する地域ニーズの反映／校長マネジメントによる学校づくり／外部人材の活用／学習環境の整備

○ 家庭の教育力向上に当たり、行政・学校・地域はどのような取組みを進めるべきか？

【視点】就学前教育／親学習の展開／保護者への支援／核となる人材の養成

○ 地域社会や世帯構造が変化し、社会の絆が重要性が再認識されている今、地域の教育力向上に当たり、教育コミュニティの充実へ向けた取組みをいかに進めるべきか？

【視点】地域人材の育成と活用／地域自らによる主体的な取組みの充実方策

【検討課題6】
安全で安心な学びの場づくりについて

《主な論点》

○ 安全で安心な教育環境を実現するために必要な取組みをどのように進めるべきか？

【視点】学校施設の耐震化／不審者等への対策／自らの命を守る力の育成